

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



黄落ちゆるやかに老ゆ音として

仲町 玉野研一

赤とんぼ群れて昭和のなつかしき

旭町 宝澤房子

乳香子の匂いほのかに葉月かな

西原町 児玉久美子

何事もなきかのよこに秋茜

緑町 池田良子

蝦夷崩る地震ないのないしなれに声あらず

西岡町 渋谷みさ子

秋の旅体操クラブのベリー狩り

南桜町 宮腰幸子

秋夕焼け古し運河の彩いろ深く

西町 金澤頼子

大空に太きタツ子の鱗雲

元町 印牧安子

蟋蟀こおろぎの旋律きこえ夜の風

緑町 齋藤嘉子

先人の生命いのち継ぎきし百二十年

仲町 坂部和子

庭隅で秋の声きく竹ぼうし

元町 西崎弘子

秋風や町を去る人送る人

屯田町 古屋克江

夜の長し漢字パスルのはかゆきし

仲町 梅基文子

古里を去る友送る今朝の秋

旭町 大河博子

仲秋の部屋トナースの声通り

西町 岸波君江

好物を重ねて置きし墓参り

西町 杉浦とし枝

また来ると子らは笑顔で夏終る

藤本町 鈴木ゆき子

幼らの声を待つかな初みかん

東町 高草木喜代子

旅人の帽子の蜻蛉と目が合あいぬ

西岡町 高瀬久美子

新そばのすするお客の箸太し

東町 高橋世津子

仲秋の月を愛しみ杯重ね

西町 文梨清子

か弱きに心寄せきりちちる虫

仲町 芳賀星子